

## 第10回ハンドボールコーチング研究会の開催にあたり

ハンドボールコーチング研究会  
代表 田中 守  
福岡大学スポーツ科学部

前回の研究会前日(3月11日)、東北地方を襲った未曾有の大震災により、第9回研究会を中止することにしました。今なお被災されている多くの方々にはお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。なお、前回の発表内容は今後のハンドボールコーチング発展のために意義深いものと判断し、日本協会ホームページ上でのWeb公開をもって発表に代えることとしました。

ところで、前回、オリンピック予選の年に相応しい「オリンピック出場に向けて」と題した基調講演を水上一先生(筑波大学名誉教授)にお願いしていましたが、全日本チームは男女ともに2012年に世界最終予選を控えていますので、今回改めて講演をお願いしています。

さて、本研究会は十数名の有志によりスタートしましたが、まさに指導委員会の中の専門員委員会であるように、その主旨は「ハンドボールコーチングに日夜努力する現場の指導者が議論し、競技力を高めるための道筋を見出すこと」(平岡氏)にあります。決して、研究者の実績づくりではありません。福岡大学の男女チームを指導しながら現場に生かす研究をモットーにしている私には、とても嬉しい発表と議論の場であり、有志に加えていただいたことを光栄に思っています。

その後、前代表の平岡先生より代表を引き継いで3年目になります。研究会発足の主旨を継承し、「現場に生かす研究の発表と議論の場づくり」を主眼に、多くの指導者や研究者が参集する場にしていきたいと考えています。

今回は、第10回目になります。ここ数年、村松誠教授のご協力を得て、駒澤大学で実施しています。本年も同様、日本リーグ男女プレーオフ(3月10日 土、11日 日)に併せて研究会を開催します。すでに研究会で了解されておりますが、本年も引き続き学部生等(参加のみで発表出来ない)の参加も可能です。また、一昨年のプログラムから実施しています基調講演を、昨年度実施できなかった水上一先生(筑波大学名誉教授)にお願いしています。多くの参加を期待します。

改めて、本研究会は学術的な研究を中心としたものではなく、指導者の経験・知見を持ち寄り、伝え合う場です。発表方法や研究方法を議論するのではなく、自分の考える指導法の有効性や動作・ゲーム分析の視点などコーチが抱える問題を議論し、助言して助け合う機会として利用されること(平岡氏)を特に希望します。

もちろん、学術的にも評価される研究の場でありたいとも考えています。そこで、本研究会の発表原稿は「抄録」として扱っています。これは、本研究会で発表して頂いた内容を論文形式に手直しし、ハンドボール協会誌「ハンドボール研究」に原著論文として発展させ、投稿して頂けることを期待してのものです。

この研究会が今後益々発展し、先生方だけでなく多くのコーチを巻き込み、ハンドボールの指導・分析視点や事例を発表して頂き、コーチの資質を切磋琢磨していきたいと考えます。

追伸)

\* 本研究会は、財)日本ハンドボール協会の下部組織として活動していますが、協会からの補助金を全く受けていません。皆様から徴収する参加費 3,000 円で運営しています。ただ、「ハンドボール研究」への投稿資格を得ています。

\* この案内は、日本ハンドボール協会に公認コーチとして登録された方と、これまでの研究会員に配信しています。

## ハンドボールコーチング研究会 大会開催要項

2011.12.20

日本ハンドボール協会 指導委員会研究部会 ハンドボールコーチング研究会

1、大会期日： 2012年3月10日(土) 11日(日) 9時~12時00分

\* 当日の午後 日本リーグプレーオフが開催されます。

2、大会場所： 駒沢大学 〒154-8525 東京都世田谷区駒沢 1-23-1

### 3、大会参加資格

本大会への参加・発表は、原則として(財)日本ハンドボール協会に所属・登録をしたものとして、ハンドボールの発展に努力する者であれば、研究部会の同意を得て参加・発表できます。参加・発表に際して必要な実費は参加・発表者が負担することとします。

### 4、参加者・発表者採用の決定

大会参加・発表の採用・不採用の決定は、参加希望者からの**参加申請書**をもとに、(財)日本ハンドボール協会指導委員会に設置された研究部会事務局で行い、不採用の場合本人に通知します。大会で発表を希望する方は、**参加申込書に発表抄録**を添えて**2012年2月21日までに**、事務局(東海大学 栗山)宛て送付され、**受理された場合**とします。

### 5、発表時間

発表 : 10分 質疑応答 : 5分

### 6、研究会用抄録とその内容

抄録の内容は、ハンドボールに関する原著論文、実践研究、事例報告、研究資料等に準じた内容で未発表のものとしてします。

### 7、参加申請書、発表抄録の送付先と期限

送付先： メールアドレス：mkuriyama@nifty.com 宛てお願いします。

\* メール送信の際の件名に「ハンドボール研究会参加申請書」を、また「送信者名」をご記入戴き、「添付資料」で栗山まで送信してください。

\* メールでの送信以外は、下記住所宛て書留郵便にて送付して下さい。

〒259-1292 神奈川県平塚市北金目4-1-1 東海大学体育学部

栗山雅倫(ハンドボール研究会事務局) 090-3509-9190

参加・発表申請・抄録の締め切り期日 : 2012年2月21日(火)

### 8、大会参加費用

コーチング研究会会費・大会参加費 3,000円 大学生特別参加 1,000円(研究誌の配布なし)

大会参加者は当日徴収します。

(大会抄録の制作費、ハンドボール研究、研究会の連絡費、会議費などに使います)

### 9、大会抄録の送付

大会に参加されない研究会会員で大会抄録及びハンドボール研究を希望される方は、**大会参加申請書(不参加)**と3,000円を現金書留にて送付して下さい。

### 10、宿泊ホテルの紹介 特に致しませんので、各自で予約してください。

ご不明な点は下記へお問い合わせください。

ハンドボール研究会担当 舍利弗学(学校法人福島高等学校)

E-mail:[manabu@mopera.ne.jp](mailto:manabu@mopera.ne.jp) :090-3147-4978(携帯)

財団法人 日本ハンドボール協会 ハンドボールコーチング研究会

研究会登録・大会参加申請書		申し込み日：H    年    月    日
申請者氏名		
勤務先	_____ 電話番号    勤務先    (    )  携帯    (    )	
勤務先住所	〒	
e-mail		
下記いずれかに 印をして下さい。  大会に    発表する    参加する    参加しないが資料を希望  宿泊を    予定している    予定していない  宿泊先は    ホテル名  ( 宿泊先連絡方法：    )		
備考・連絡事項：		

# ハンドボールコーチング研究会抄録作成要項

2002.12.1作成

2007.12.22一部改正

- 1、研究会発表用抄録は原則としてワードプロセッサで作成するものとし、本文はA4判 縦置・横書き、1行44字で2段組(中央に空白)トータル42字、44行(MS明朝、フォントサイズ10.5)とする。1ページ目の1行目に研究テーマ(フォント12、太字)を記入し、3行目に(フォント10.5で)発表者を先頭に研究者氏名(所属)を記述する。4行目にキーワード(3語)を記入し、5行目は空白として6行目から本文とする。
- 2、ひらがな現代かなづかいとし、外国語をかな書きにする場合はカタカナにて表記する。文章は「カンマ」と「ピリオド」で記述し、英数文字は半角にする。
- 3、原稿は、原則として1篇につき、図表、抄録を含めて刷り上り2ページとし、発表に関わる資料は各自50部程度を準備し、研究会当日に配布する。
- 4、図中の文字や数字、写真が直接印刷できるように、きれいにはっきりとしたものを用いる。図や表には、それぞれに通し番号とタイトルをつける。
- 5、本文中の文献の記載は、著者と片カッコでの数字とする。文献リストは本文の最後に片カッコで示した文献順に、著者名(発行年) 論文名、誌名、巻:ページの順に記述する。
- 6、提出する原稿はメールに添付し送信する。郵便での送付の場合は、オリジナル原稿1部と、著者名、所属機関、謝辞を削除したコピー1部及びPC系パソコンで作成したフロッピー又はCD1枚を送付する。
- 7、抄録集に掲載された論文抄録の著作権は、ハンドボール研究会に帰属する。
- 8、投稿論文抄録は研究会申込用紙とともに、下記へ送付する。

〒259-1292 神奈川県平塚市北金目4-1-1 東海大学体育学部内  
栗山雅倫 (ハンドボール研究会事務局)

E-mail: mkuriyama@nifty.com

- 9、大会抄録記入例 A4版2頁まで

## ハンドボールの戦術に関する比較研究

小泉じゅんいちろう(自民大学) 田中まきこ(新潟交通大学)

キーワード: ハンドボール、戦術、比較研究

22 字

空白

22 字

研究目的: 本研究の目的は.....

結果: .....

方法:

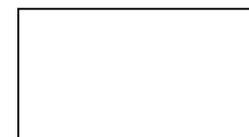


図1 タイトル

まとめ: